

第4学年 総合的な学習の時間学習指導案

橋本市立三石小学校

阪本 大樹

1. 単元名 地球温暖化からエネルギー消費を見直そう
2. 単元目標
 - ・水資源の問題が、地球温暖化などの様々な地球問題と相互にかかわっていることを理解することができる。
 - ・地球温暖化について、世界的な様々な状況と関連付けながら、自分の行動を振り返ることができる。
 - ・地球温暖化を防ぐために、自ら進んで自分にできることを決め、実行しようとする事ができる。
3. 教材観

社会科の「命と暮らしをささえる水」によって日本の水道の様子や川の様子、またそれらを通して森林を大切にしなければいけないことや、水は循環することなどを学習した。本単元ではそれらの発展形として、総合的な学習の時間を通して行う。

本単元は水資源を地球規模で考え、水資源の問題を通して環境問題、温暖化問題、エネルギーの大量消費社会の相互に与える影響について考えさせる。

また、エネルギー消費を抑えるために自分たちができることを考え、発表し、それらを責任を持って実践していく態度を養いたい。
4. 児童観

社会科の既習内容により、水資源の基本的な内容は把握している。しかし、日本においての水資源の内容しか行っていないために、世界的な水資源の問題についてはわかっていない。

本単元を通して、様々な地域の水資源の現状から地球規模の環境問題、温暖化問題、エネルギー問題に対して課題意識を持たせたい。

また、自分の一人で多面的に物事を把握できる子が少なく、どうしても偏った側面からしか物事が捉えられないことがある。コミュニケーションをとって様々な意見と触れ、物事を多面的に捉えられるような授業展開を行いたい。
5. 指導観

本単元では日本と他地域の対比を元に授業を進めていきたい。自分が恵まれている立場にあることに気づかせ、今できることを考えられるよう指導したい。その上で、他学年に発表することで自分の考えに責任感を持たせたい。

また、本単元を学習するにあたって、コミュニケーションツールとして話し合いの場を多く用意したい。話し合いを通じて他者の考えにふれると同時に、自分の考えを積極的に発言できるような指導を行いたい。
6. ESDの観点
 - ・ ESDの視点
 - 相互性：水問題と地球温暖化、エネルギー問題は相互に影響を与えていることを捉える。
 - 責任性：エネルギー消費をおさえ、温暖化を防ぐために自分たちの生活を改善する必要があることを意識する。

・ESD で育てる能力

批判的思考力：地球温暖化の現状について課題意識をもち、これまでの自分たちの生活を振り返る。

多面的・総合的思考力：地球温暖化について、様々な視点で原因を考え、捉えることができる。

・ESD で育てる価値観

責任性：地球温暖化を防ぐために、一人一人の行動が大切であることを理解し、自ら進んで自分にできることを決め、実行できる能力を育てる。

7. 評価基準

知識技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
水資源の問題が、地球温暖化などの様々な地球問題と相互に関わっていることを理解することができる。	地球温暖化について、世界的な様々な状況と関連付けながら、自分の行動を振り返ることができる。	地球温暖化を防ぐために、自ら進んで自分にできることを決め、実行しようとするすることができる。

8. 単元展開の概要（全8時間）

時	主な学習活動	学習への支援	◇評価・備考 【ESDの視点に立った学習指導で重視する能力や態度】
1	地球上にどのくらい水があるのかを、直径1mの地球に圧縮したものを使い、意見交流をさせる。	直径1mの地球のイラストを掲示し利用できる水の少ないことに気づかせる。	◇積極的な話し合いを行うことができる。<話し合い>（態度） 【伝達】
2	日本と世界の水の様子を対比させながら、水害や水不足について考えさせる。	様々な地域の写真や映像を提示し、既習事項の日本の様子との違いを意識させる。	◇海外と日本の違いを多面的に捉えながら水問題について考えることができる。 <ワークシート>（知識技能） 【多面】
3	水資源の問題の原因を様々な視点から捉えさせる。	様々な問題の中でも、地球温暖化に焦点を当て、温暖化がもたらす海面上昇とそれにかかわる大気循環を動画などを使い提示する。	◇水資源の問題を多面的に捉えることができる。 <ワークシート>（思考） 【多面】
4 5	地球温暖化の原因を自分たちの生活を振り返りながら考えさせる。	自分たちの生活が地球温暖化の原因になっていることを気づかせる。	◇自らの行動を振り返り、批判的に捉えまとめることができる。<ワークシート>（判断） 【批判】
6 7	地球温暖化の原因の一つであるエネルギーの大量消費問題に対して、自分たちにできることを考える。	エネルギーを大切にするために、自分たちができることをまとめ、気づかせる。	◇今実際にできることを具体的に考え、まとめることができる。 <ワークシート>（態度） 【未来】

8	今、自分たちの考え、他者に伝えることができるようにまとめる。	紙芝居やプレゼン、ポスター、模型などを各自の成果を発表するために自分たちの考えをまとめる。	◇自分たちの考えを仲間と協力しながらまとめることができる。<話し合い>(表現) 【協力】
9			
10	他学年に発表に行き、自分たちの考えを発信する。	自分たちの考えを発表することを通し、自分たちの行動に責任を持たせるようにする。	◇自らの考えをわかりやすく他者に発表することができる。 <発表>(表現) 【伝達】